

1 研究主題

「特別活動で楽しく豊かな学級・学校生活を ～学級会を通して～」

2 研究の概要

特別活動部では「よりよい人間関係を築く」ことや「自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う」ことを重視して研修を進めている。今年度は学級会の公開と協議会を通して、児童一人一人のよさを引き出し、よりよい学級経営の実現を図る具体的な技術を学び合うことを基本方針として進めた。

3 研究の実際

(1)第1回専門部会

期 日：平成28年4月13日（水）

内 容：研修テーマ及び研修方針の検討，活動計画の立案

(2)第2回専門部会

期 日：平成28年8月23日（火）

内 容：授業（学級会）公開に向けての指導案検討

(3)第3回専門部会

期 日：平成28年10月12日（水）

内 容：授業（学級会）公開，協議会，御指導及び講話

講 師：新潟県立教育センター

指導主事 仙田 満 様

授業者：河原田小学校 宇佐美 陽子 教諭

題材名「イベント集会を成功させよう」（6年）



授業公開と協議会の概要：

- ・授業は大変温かく良い雰囲気に進んだ。日々の指導の成果である。
- ・主張または賛成反対をまず述べ、加えて必ず理由をつけた発言になっていた。議長が全員に発言させていた。互いの意見を聞いて話し合いが進んでいた。司会のコントロール力があつた。
- ・自分の考えを堂々と発表できる，周りが受け入れる，非常にレベルの高い学級。
- ・出店数について，他者の考えを聞いて自分の意見を変えていらた。折り合いをつけられた。
- ・ワークシートに工夫があつた。「～の良かったところ」を記入する欄があるのでポジティブになる。

講師より：

- ・ルールとリレーションができています。自己評価と相互評価を大事にしていた。
- ・特別活動を充実させると学力向上，いじめの未然防止，自己有用感の育成に繋がる。
- ・特別活動に関する指導力は全ての教員に求められる最も基本的な専門性の一つ。

4 成果と課題

受容的な雰囲気です活発な議論を進めるには、日頃の学級指導が大変重要だと分かった。このような授業公開は大変良い研修になる。継続が望まれるとの意見が出た。